画像符号化シンポジウム・映像メディア処理シンポジウム 講演予稿の書き方

How to Prepare a Camera-Ready Paper for Picture Coding Symposium of Japan and Image Media Processing Symposium

和文著者 1[†] 和文著者 2[‡]

和文著者3[†]

Author 1[†] A
[†]PCSJ/IMPS 実行委員会

Author 2^{\ddagger} Author 3^{\dagger} 会 ‡ 和文所属 2

[†]PCSJ/IMPS Organizing Committee

[‡]English Affiliation 2

Abstract: 内容を 300 字程度で記述します。内容を 300 字程度で記述します。

1 はじめに

講演予稿集は、USB および印刷物 (白黒) により出版致 します。提出は、PDF ファイルを指定サイトへアップロー ドいただきます。

特別講演はフォーマット自由、ページ制限無し (8 ページ程度以内)。予稿集では顔写真と略歴を先頭ページに記載します。

本サンプルは一般講演 の説明になります。

設化 /	aa	aaa
設定イ	bb	bbb
設定ウ	cc	ccc

表 1: 符号化器の設定

3 配置

- 表題、著者名、勤務先は、本サンプルに従ってそれぞれ記入して下さい。
- アブストラクト (和文の場合 300 字程度、英文の場合 100 語程度) をお入れ下さい。
- 本文は一段または左右二段に書いても差し支えあり ません。
- 用紙最終頁右下に、発表者連絡先をお入れ下さい (本 サンプルのマクロ\simplefootnotetext を使われる と便利です)。

4 文字サイズ

文字サイズは、本サンプルを目安にしてください。

表題 16 ポイント (\LARGE)

和文著者名 14 ポイント (\Large)

英文著者名 12 ポイント (\large)

所属および本文 10 ポイント (\normalsize)

程度です。

2 分量、原稿サイズ

- 1件2ページ以内(図表を含む)
- A4 サイズ
- 幅 180mm
- 高さ 252mm
- 段間の幅 8mm 程度 (二段組の場合)

としてください。

5 図表

予稿集は白黒・網がけ印刷になります。見にくくならないよう、作成の際にはご注意ください。

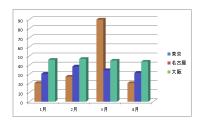


図 1: 符号化実験結果

図表の出力位置を指定するオプションは、[h] は使わず [t]、[b] などを指定してページの天か地に置くことを基本 にします。

図表内は英文でも和文でも結構です。参照は図1、表1 のようにしてください。

6 PDFファイル化

PDF 作成時はすべてのフォントを埋め込むように設定して下さい。Acrobat や Web 上のフリーのツール等で構いませんので、必ずフォント埋め込みを確認して下さい。変換コマンド例は以下の通りです:

- \$ platex foo.tex
- \$ dvipdfmx -p a4 foo.dvi または
- \$ simpdftex platex --mode dvipdfmx --dvipdfmopts \
 "-p a4" foo.tex

7 その他 $ot {f WT}_{f E} {f X} \, {f 2}_{m arepsilon}$ 特有の事項

お好みで newtx[2] や jsclasses[3] を用い、より美しい組版をしていただいても構いません。

原則として半角に存在する文字については全角を使わないようにします (e.g., "(ABC123)"は "(ABC123)"のように)。

半角と全角の間にスペースを入れる (e.g., 10 種類) 必要はありません (自動的に四分アキが入ります (10 種類))。

pIAT $_{\rm E}$ X 2_{ε} コンパイル時のフォントに関する Warning を抑制するには jtygm スタイルファイル [4] をご参考にされてください。

参考文献等での URL の表記には、url スタイルファイルを使い\url{http://...}とされると便利です。また、同 URL にハイパーリンクを付与するには hyperref を利用します [5]。

その他、IFTEX のコマンド・パッケージの使用方法について、[6] の情報が参考になります。

8 おわりに

平成 19 年 3 月 2 日 初版 平成 19 年 3 月 8 日 更新 平成 26 年 5 月 23 日 更新 平成 27 年 7 月 15 日 更新

参考文献

- X. Wu et al.: "Context-based, adaptive, lossless image codec," IEEE Trans. Commun., vol. 45, pp. 437–444, Apr. 1997
- [2] M. Sharpe: "newtx Alternative uses of the TX fonts, with improved metrics", http://www.ctan.org/pkg/newtx
- [3] 奥村晴彦: "pIFTEX 2ε 新ドキュメントクラス", http://oku.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/jsclasses/
- [4] 堀田耕作: "jtygm スタイルファイル", http://www.khotta.org/ghost/psfont.html
- [5] 水谷正大: "ハイパーリンク付き LaTeX 文書", http://www.isc.meiji.ac.jp/~mizutani/tex/link_slide/hyperlink.html
- [6] 丸田一郎: "使ってはいけない IPTEX のコマンド・パッケージ・作法", http://ichiro-maruta.blogspot.jp/2013/03/latex.html

○○研究所 ××プロジェクト

〒222-2222 ○○市××町 1-1-1

Phone: 000-111-2222, Fax: 000-111-2223

 $E\text{-}mail:\ foo@example.jp$